

## 感染症検査 (犬)

所要日数は、土日祝は含みません

No	検査項目	材料 検体量	検査法	参照 ページ	所要 日数	備考
84	犬ジステンパーウイルス (CDV) 共通遺伝子	鼻汁・糞便・結膜スワブ 適量 EDTA全血 0.5mL 脳脊髄液 0.3mL	RT-PCR	34	4~6	冷蔵
85	犬ジステンパーウイルス 野外株遺伝子	共通遺伝子検査で増幅され たPCR産物を使用	PCR-RFLP	//	3~5	冷蔵
86	犬ジステンパーウイルス IgM抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	ELISA	//	2~4	冷蔵
87	犬ジステンパーウイルス 中和抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	NT	//	6~8	冷蔵
88	犬ジステンパーウイルス IgG抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL 脳脊髄液 0.1mL	IP	//	2~4	冷蔵
89	犬パルボウイルス2型 (CPV-2) 野外株遺伝子	糞便 適量 EDTA全血・血清・ヘパリン血漿 0.4mL	PCR	37	3~5	冷蔵
90	犬パルボウイルス2型 IgM抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	2ME-HI	//	3~5	冷蔵
91	犬パルボウイルス2型 HI抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	HI	//	3~5	冷蔵
92	犬アデノウイルス (CAV) 1型遺伝子	尿・EDTA全血 0.4mL	PCR	38	3~5	冷蔵
93	犬アデノウイルス 1型抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	NT	//	6~8	冷蔵
94	犬アデノウイルス 2型抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	NT	//	6~8	冷蔵
95	CAV-1抗体+CAV-2抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	NT	//	6~8	冷蔵
96	犬コロナウイルス (CCoV) 遺伝子	糞便 適量	RT-PCR	39	4~6	冷蔵
97	犬コロナウイルス 抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	IP	//	2~4	冷蔵
98	犬パラインフルエンザウイルス (CPIV) 抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	NT	39	8~11	冷蔵
99	犬ヘルペスウイルス (CHV) 抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	NT		6~8	冷蔵
100	犬バベシア ( <i>Babesia gibsoni</i> ) 遺伝子	EDTA全血 0.4mL	PCR	40	3~5	冷蔵
101	犬バベシア ( <i>Babesia gibsoni</i> ) 抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	ELISA	//	4~6	冷蔵
102	犬ヘモプラズマ ( <i>Mycoplasma haemocanis</i> ) 遺伝子	EDTA全血 0.4mL	PCR	41	3~5	冷蔵
103	犬バベシア+犬ヘモプラズマ 遺伝子セット	EDTA全血 0.5mL	PCR		3~5	冷蔵
104	犬ブルセラ ( <i>Brucella canis</i> ) 抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	MA	41	3~5	冷蔵
105	レプトスピラ ( <i>Leptospira spp.</i> ) 遺伝子	尿 1.0mL EDTA全血 0.4mL	PCR	41	4~6	冷蔵
106	犬フィラリア ( <i>Dirofilaria immitis</i> ) 遺伝子	EDTA全血 0.4mL	PCR		4~6	冷蔵
107	ネオスポラ ( <i>Neospora caninum</i> ) 抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	ELISA		4~6	冷蔵
108	トキソプラズマ ( <i>Toxoplasma gondii</i> ) 抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	ELISA		3~5	冷蔵

●遺伝子検査材料は遺伝子専用として採材してください。遺伝子以外の項目と重複している場合は、必ず遺伝子用に材料を分けてください。



## 犬ワクチンセット検査 (ワクチン効果、防御能のチェックのためのセット検査です)

No	検査項目	材料 検体量	検査法	参照 ページ	所要 日数	備考
109	<b>Aセット</b> CDV抗体 CPV-2抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	IP HI	下記 参照	4~6	冷蔵
110	<b>Bセット</b> CDV抗体 CPV-2抗体 CAV-1抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	IP HI NT	//	6~8	冷蔵
111	<b>キャニバック®Aセット</b> CDV抗体 CPV-2抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	IP ELISA	//	4~6	冷蔵
112	<b>キャニバック®Bセット</b> CDV抗体 CPV-2抗体 CAV-1抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	IP ELISA NT	//	6~8	冷蔵

- **ワクチン接種後の効果判定 (主に若齢犬) やワクチン追加接種の必要性の確認 (主に成犬) の検査です。**  
ワクチン接種後2~3週以降に採血してください。  
なお、CPV-2のみの判定はワクチン接種10日後で可能です。
- 犬以外 (フェレットやキツネなど) ではCDV抗体価が若干低く測定されることがあります。
- 結果の解釈は一般的なものです。特にワクチン接種が必要と考えられる場合はワクチン会社にお問い合わせ、またはワクチン会社発行の技術資料を参照の上ご判断ください。
- 「キャニバック®」以外のワクチンをご使用の場合は、「Aセット」、「Bセット」をご選択ください。

## \*\* 結果の解釈 \*\*

## 4ヶ月齢以上

CDV	CPV-2	CAV-1	コメント
80倍以下	20倍以下	20倍以下	発症を確実に防御できる抗体価ではありません (ワクチン効果が不十分です)。
160~320倍	40~80倍	40~80倍	現時点で防御可能な抗体価ですが、長期間の効果を期待するにはもう少し高い抗体価が必要です。1年以内にワクチンを追加接種するか、抗体の再検査を実施されることをお勧めいたします。
640倍以上	160倍以上	160倍以上	発症を防御できる抗体価です (十分なワクチン効果です)。

## 3ヶ月齢

CDV	CPV-2	CAV-1	コメント
80倍以下	20倍以下	20倍以下	発症を確実に防御できる抗体価ではありません (ワクチン効果が不十分です)。
	40倍		移行抗体の可能性があるので、1ヶ月後に再検査をするか (移行抗体の場合は1/4~1/16に低下します)、ワクチンの再接種をお勧めします。
160~320倍	80倍	40~80倍	現時点で防御可能な抗体価ですが、長期間の効果を期待するにはもう少し高い抗体価が必要です。1年以内にワクチンを追加接種するか、抗体の再検査を実施されることをお勧めいたします。
640倍以上	160倍以上	160倍以上	発症を防御できる抗体価です (十分なワクチン効果です)。

## 2ヶ月齢

CDV	CPV-2	CAV-1	コメント
80倍以下	20倍以下	20倍以下	発症を確実に防御できる抗体価ではありません (ワクチン効果が不十分です)。
160~320倍	40~320倍	40~160倍	移行抗体の可能性があるので、1ヶ月後に再検査をしてください (移行抗体の場合は1/4~1/16に低下します)。
640倍以上	640倍以上	320倍以上	発症を防御できる抗体価です (十分なワクチン効果です)。

各月齢における移行抗体との区別のために、ワクチン接種済みの健康犬100頭の血清について抗体価を測定し、その最高値と移行抗体の半減期から算出した値を利用しております。